

第1学年生活科学学習指導案

単元名「わくわくランドであそぼう」

指導者 岩渕 里美, 工藤 理瑛, 大野 雅子

対象：1年生 71名 日時：令和7年11月15日（土）9時15分～10時 場所：第1多目的教室

1 指導にあたって

(1) 児童について

これまでの生活科の学習で、植物や生き物の観察を行ってきた。意欲的に楽しんで行う児童が多く、自分で植えたアサガオの栽培も積極的に行っている。ものづくりが好きな児童が多く、図工では形や色を工夫してつくっている様子も見られる。

校外学習や幼稚園との交流では、学年全体でグループを作り活動した。普段一緒に勉強したり遊んだりしていない児童同士でも、声をかけ合って仲良く活動することができた。また、幼稚園児に対して、優しく接したり声をかけたりすることができた。

いろいろな活動に積極的に参加することができるが、自分のやりたいことを通そうとしたり、友達に嫌なことをしてしまったりする児童もいる。その一方で、困っている友達がいるとアドバイスをしたり手伝ったりすることもできる。

そこで、幼稚園児を招待して楽しませるという場を設定し、児童が相手意識をもって計画を立てたり準備をしたりすることができるようにする。そして、楽しむ側と準備する側の両者を実感することにより、自分たちを楽しませてくれた人への感謝の気持ちをもたせたい。

(2) 教材について

本単元では、相手意識をもって計画したり準備したりすることを特に大事にして、学習を進める。相手の気持ちになって活動していくために、以下のように「場」を設定した。

第一に、2年生が計画した遊びを体験する場を設けた。これまでも2年生との活動を設定してきた。三岳公園で遊んだり、アサガオの植え方を教えてもらったりするなどの交流を深めてきた。そして、2年生のあそびランドに招待してもらったことが、幼稚園児を楽しませたいというきっかけとなった。遊んだ後は、ただ体験するだけでなく、どんなところが楽しかったかを振り返ることで、2年生が準備するときに工夫した点に気付くことができ、自分たちが幼稚園児と交流する際に生かされるのではないかと考えた。

第二に、友達が計画した遊びを体験し、良かった点や改善点を話す場を設けることである。目的意識をもった体験することで、より楽しい遊びをつくり出すために、知恵を出し合ったり自分の思いや願いを実現させて満足感を得たりするなど、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの学習活動を充実させたい。また、相手に伝わりやすいように話したり、もっと知りたいことを質問したりすることで、様々な立場や考え方があることを理解し、身近な人と関わることのよさや楽しさを十分に味わわせていきたい。

(3) 指導について

本単元では、幼稚園児を招待して、手作りの遊びで交流して楽しませることを目的として計画している。そのために、事前に二つの活動を設定した。一つ目は、校庭や公園で秋の植物や生き物を探し、葉や木の実などを使っておもちゃ作りをして遊ぶ活動である。身の回りにある物を使って、おもちゃを作りみんなで楽しむことができた。二つ目は、2年生の「うごくおもちゃ作り」と関連させて、2年生のつくったおもちゃで1年生が遊ぶ活動である。

二つの活動を通して、幼稚園児を楽しませるという、相手意識がうまれるのではないかと考えた。さらに、計画を立てて実践した後に、改良する時間を設けることで、よりよい活動にしようという意識をもって話し合い活動ができるのではと考えた。このような活動を続けていくことで、学級や学校のことを考えた活動をする事ができる児童の育成につながっていくと考える。

3 単元の目標

- 身近にある物を使っての遊びを考えたり遊びに使うものを工夫してつくったりすることで、遊びの面白さに気付く。【知識及び技能の基礎】
- 身近にある物を使って、幼稚園児が楽しめる遊びを考えたり遊びに使うものを工夫してつくったりする。【思考力、判断力、表現力等の基礎】
- 友達と楽しみながら、幼稚園児が楽しめる遊びを創り出そうとする。【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の指導計画

時	小単元	学習活動	【評価規準】(評価の方法)
1	おもちゃランドで遊ぼう。 【2年生との交流】	・2年生と一緒におもちゃランドで遊ぶ。	身近にある物を使ったおもちゃの面白さやその特徴に気付いている。 【知識・技能】(活動の様子) 相手を楽しませる遊び方の工夫に着目しながら、おもちゃで遊んでいる。 【思考・判断・表現】(活動の様子)
2 3	全体でわくわくランドの計画をたてよう。	・どんなおもちゃや遊びをしたら、幼稚園児が楽しめるか話し合う。 ・グループごとに分かれて、計画を話し合う。	おもちゃランドや秋祭りの経験から、どんなおもちゃや遊びがあればいいか考え、遊びを創り出そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(話し合いの様子、活動の様子)

4 5 6 7	わくわくランドの準備をしよう。	・おもちゃや遊びに使う物を作る。 ・遊びの場に必要な物について話し合って作成する。 ・役割について話し合う。	自分が遊び方を工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 【知識・技能】（活動の様子）
8 （本時）	遊び方の改善点を見つけよう。	・1年生同士で遊ぶ。 ・遊び方の改善点を見つけて伝え合う。	遊び方を工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 【知識・技能】（活動の様子） 幼稚園の子どもたちが楽しめるように、よりよい遊び方を考えている。 【思考・判断・表現】（活動の様子）
9 10	わくわくランドの準備をしよう。	・前時で出た改善点をもとにグループで見直しをする。	幼稚園の子どもたちが楽しめるように、何が必要かを考え、準備しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】（活動の様子）
11	わくわくランドであそぼう。【幼稚園児との交流】 振り返ろう。	・幼稚園児を招待し、一緒に遊ぶ。 ・学習の振り返りをする。	みんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからやってみたいことを発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表の様子）

5 本時の学習（8／11）

（1）小単元名「遊び方の改善点を見つけよう」

（2）目標

友達の計画した遊びを体験し、幼稚園児が楽しめるように、よりよい遊び方を考えることができる。

（3）展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 教師の関わり ◎評価規準
1 前時までの学習を振り返る。 ・幼稚園児を楽しませるために計画をした。	・幼稚園児を楽しませるという目的があることを確認する。

2 本時のめあてを確認する。	
	② ようちえんのおともだちにたのしんでもらえるように、くふうしよう。
3 活動の流れを確認する。 ・ A チームと B チームに分かれる。 ① A チームがお店役、B チームが遊ぶ役で活動する。(10分) ② B チームの班は、よかった点とさらによくするためにどうすればいいかを伝える。(5分) ③ A チームが遊ぶ役、B チームがお店役で活動する。(10分) ④ A チームの班は、よかった点とさらによくするためにどうすればいいかを伝える。(5分) 4 活動を始める。 5 活動を振り返る。 ・ 遊びの説明をもっと簡単な言葉にしたい。 ・ 遊ぶ時間を変えたい。 ・ 景品をもっと作りたい。 ・ 難しさを変えたい。 6 次時の確認をする。	・ 遊びは8種目あり、全部で10班に分かれる。違う遊び同士を組ませるようにする。 ・ お店役は制服を着る。 ・ 活動の視点を確認する。 1 わかりやすい言葉で説明しているか。 2 幼稚園のお友達が楽しめる遊びか。 ・ タイマーで時間を示す。 ・ 教師はお店の様子を見守るようにする。 ・ アドバイスは、タブレットを使用し、やり取りの様子を録音させる。 ・ 班ごとに話し合う時間を設ける。 ・ タブレットで記録した音声を参考にしながら話合う。 ・ いくつかの班のリーダーに、どんなことを改善したいか、発表してもらう。 ◎ 友達のアドバイスを参考にして、幼稚園児が楽しめるように、遊び方を考えている。【思考・判断・表現】(活動の様子) ・ 班ごとに改善点を詳しく話し合うことを伝える。